視察研修報告

◆美浦村議会議員会

【視察日】平成30年6月27日～29日

【視察先】

○石川県鳳珠郡能登町議会

○石川県河北郡内灘町議会

【視察目的】

現在、本村議会で積極的に推し進めている「議会改革」において、更なる開かれた議会のため、「通年会期制の導入について」、また、会議等でのペーパーレス化をさらに推進するための「タブレット端末を利用した議会運営について」、先進地を視察し、今後の村政推進のための議論の参考にする。

【参加議員】議員14名

【視察内容】

通年会期制の導入に至った経緯として、自治体の意思を決定し執行機関を監視する議会は、二元代表制の一翼を担う機関であることから、通年議会制度導入により議会活動の更なる活性化を図り、その機能を最大限に発揮することを目的に導入に至ったとのことであった。

また導入によるメリットとしては、「議案の常時提出が可能」、「災害時の迅速な対応」、「突発的行政課題への対応」などが挙げられ、会期にとらわれず十分かつ活発な議論が展開されるとのことである。

タブレット端末を利用した議会運営については、会議資料のペーパーレス化、議会内の情報伝達、危機管理上の緊急連絡と後方支援、政務活動調査への活用等を目的に内灘町では平成26年度より導入している。

また、通信費の一部を議員が負担しているとのことだった。

◆稲敷地方広域事務組合

【視察日】平成30年7月4日～6日

【視察先】

○秋田県大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

○ウィンドームたちかわ

○山形県酒田地区広域行政組合衛生施設

【視察目的】

これからの広域消防組合のありかたなど、最新防災・災害対策・今後の高齢化対応などを視察研修し、地域住民との交流と稲敷地方広域市町村圏事務組合の今後の計画に生かすため、特に高齢化は今後の課題であります。高齢者、弱者対応は早急な対策が必要であることから現地視察を行い、今後の事務組合事業の参考とする。

【参加議員】林昌子・飯田洋司

【視察内容】

秋田県大曲仙北広域市町村圏組合では、6月に開設引越しした新消防本部を視察。最新の設備がありました。中でもＮＥＴ１１９の救急通報は、今後高齢化社会に活躍が期待されるシステムです。

ウィンドームたちかわでは、風力発電は、地形を利用しエコエネルギー活用を昭和55年より実用化実験事業でスタート。現在は、費用対効果と耐用年数などの問題を抱えています。

山形県酒田地区広域行政組合衛生施設では、環境型社会形成推進地区計画達成状況報告書と、改善計画書など市民への告知は進んでいました。

◆龍ケ崎地方衛生組合

【視察日】
平成30年7月4日～7月6日
【視察先】
○オガール紫波
　岩手県紫波郡紫波町
○亘理名取共立衛生処理組合・名亘浄化センター
　宮城県岩沼市
○宮城県女川町観光協会
　宮城県牡鹿郡女川町
【視察目的】
　東日本大震災により甚大な被害を受けた、宮城県岩沼市にある亘理名取共立衛生処理組合の名亘浄化センター、宮城県女川町の復興まちづくりの状況や、岩手県紫波町において公民連携による地方創生モデルである「オガールプロジェクト」を現地視察することにより、各構成市町村のまちづくり行政等の参考とする。
【参加議員】　石川修・小泉嘉忠
【視察内容】
　名亘浄化センターは、平成5年12月に完成し、1日あたり113㎘（し尿78㎘／日・浄化槽汚泥35㎘／日）を処理できる最新処理方法を備え、現在に至る。
　東日本大震災の津波により、浄化センターが使用不可能となってしまったが、平成25年3月に復旧修繕が完了し再稼働となる。
　震災後の操業状況は、平成28年度において、し尿等の総収集量2万804㎘で、東日本大震災以降沿岸部でのし尿汲み取り戸数が減少していることから、前年度対6．65％の減少となっている。
　し尿の受入れは、浄化センター処理能力113㎘／日のうち約70％を見込んでいたが、合併浄化槽や下水道の整備が進んだことにより約35％に留まり、浄化槽汚泥処理が約65％となっている。

◆江戸崎地方衛生土木組合

【視察日】
平成30年7月4日～7月6日
【視察先】
○北海道平取町外2町衛生施設組合
○北海道北しりべし広域クリーンセンター
【視察目的】
　ごみ処理施設の次期計画である、リサイクルセンターの整備に向け、リサイクル率の向上と住民目線にたった環境学習等々のあり方を研鑽する。
【参加議員】　下村宏・塚本光司
【視察内容】
　平取町外2町衛生施設組合は、組合構成人口25，300人となっており、小規模施設であることからコンパクトかつ効率の良い施設との印象を受けた。資源ごみは7種類に分別され回収し、選作業は手作業、年間経費は約4千万円とのこと。
　北しりべし広域クリーンセンターは、組合構成人口146，000人であり、非常に大規模な施設であった。大規模施設であることから設備は充実し、大量のごみから資源を機械と手作業を併用して選別、資源回収を行っていた。
　本視察研修において特に印象に残ったこととして、平取町外2町衛生施設組合の作業工程が印象的であった。
　収集作業を行い、搬入を終了した収集車スタッフも選別作業に加わっていたことだ。同じ業者へ選別、回収の委託を行っていたから可能な光景だったのだが、その無駄のない運用からコンパクトで効率の良い施設との印象が強く残った。
　江戸崎地方衛生土木組合も喫緊の課題として新焼却炉の建設等あるが、今回の視察研修を糧としていきたい。

◆美浦村議会議会運営委員会

【視察日】
平成30年11月15日～11月16日

【視察先】
○山梨県　富士河口湖町
○山梨県　富士川町

【視察目的】
　現在、本村議会で積極的に推し進めている「議会改革」における、会議等でのペーパーレス化をさらに推進するための、「議会におけるタブレット端末の活用方法について」、また、「国立大学との包括的連携協定について」、協定締結に至った経緯、協定の内容並びに大学側の役割等、先進地を視察し、今後の村政推進のための議論の参考にする。

【参加議員】 石川修・下村宏・椎名利夫・沼﨑光芳・小泉輝忠

【視察内容】
　富士河口湖町で策定する計画の中で、諸政策の展開に大学が有する人的資源を活用し、その目的達成と地域の活性化を図ると共に、地域貢献を使命とする山梨大学が、地域の期待に応えるため、活力ある地域社会の形成、発展を目指して、双方の持つ資源の活用や様々な分野での緊密な連携を図るため、包括的連携協定の締結を行ったとのことである。

　富士川町では、会議のペーパーレス化、事務の効率化、情報の共有を目的に平成26年より議会主導で導入のための検討を重ね、平成27年12月に導入のための導入検討委員会を設置し、平成29年12月議会より、完全ペーパーレス会議を行っている。

議会傍聴の感想

１２月定例会を傍聴いただいた方にアンケートのご協力をお願いしました。多数のご意見の中から一部をご紹介いたします。ご協力ありがとうございました。

　穏やかな議会で、楽しく傍聴することができました。高齢者優先の村政はありがたいですが、これからの方々により良い村政が大事だと思います。（女性）

　住みよい生活ができるような村づくりのため、少しでも災害の恐れのある地域を少なくしていただきたい。（男性）

議員の皆様の生の声を聞けて良かった。（女性）